

富海小・中で建設機械展示など 道路舗装の仕事を知る 車両に乗り、測量機器で「宝探し」も



道路の舗装で活躍する車両の運転席を体験した



測量に使う「プリズムミラー」を手に宝探しをした

子どもたちに建設業界に興味を持ってもらうようと、富海小・中（曲浩範校長）で9日、建設機械

の見学や体験などの催しがあった。児童・生徒約120人が参加。油圧シヨベルやアスファルト

舗装機械などに加え、高所作業車も用意され、約10メートルの高さから校舎周辺を見渡した。

国道2号富海幅掘事業の4車線化が、3月5日（木）完成するのを前に開催。舗装工事を受注す

る大林道路広島支店山口営業所（宇部市）の宮崎耀平工事主任（34）ら16人が、児童・生徒たちに道路舗装の仕事や機械の運用などを解説した。「宝探し」もあり、児童・生徒たちが工事現場で使われる測量機器を手に、校庭に隠されたポイントを見つけた。4年清水愛菜

さん（10）は「さまざまなものが見られて面白かった。こうした機械を使って仕事をしていて、すごいと思った」と話した。

宮崎さんは「将来の子どもたちの夢などが描かれている。3月以降、同校そばの地下道で展示を予定している。」

（杉田雄）